『がんばろう岩手　つながろう岩手』緊急アピール

本県は、去る３月 11 日、国内観測史上最大のマグニチュード 9.0 という東北地方太平洋沖地震と津波に見舞われ、多くの方々が亡くなり、また、行方不明となるなど未曾有の大被害を受けました。

私たち岩手県民は、明治、昭和の三陸大津波をはじめ、繰り返し大きな災害に見舞われてきましたが、先人は、結（ゆい）の精神により、助け合い、励まし合いながら克服してきました。私たちも、何としてもこの苦難を乗り越え、この岩手を次の世代に引き継いでいかなければなりません。

この余りに大きな自然災害を前にする時、この度、世界遺産に登録された平泉が、12 世紀、多くの命が犠牲となった戦乱による荒廃から立ち上がり、平和な理想郷を目指した際の、人と人との共生、人と自然との共生の理念を胸に、復興に臨んでいくべきものとの思いを新たにします。

岩手県が県内各層の方々と共に取りまとめた復興基本計画案では、「安全の確保」「暮らしの再建」「なりわいの再生」の原則の下に、「いのちを守り　海と大地と共に生きる　ふるさと岩手・三陸の創造」を目指して取り組むこととしています。

オール岩手の官民協働のネットワークである「いわて未来づくり機構」は、この計画の目指す姿の実現に向けて、地域を担う人材の育成や、三陸の海の資源を活用した新産業創出など、地域と一体となって復興に取り組んでいくことを会員の総意としてアピールするものです。

平成２３年７月１９日

いわて未来づくり機構

甘竹　秀雄

藤井　克己

谷村　邦久

中村　慶久

高橋　真裕

達増　拓也